

『エイビーロード』 2016年年末年始ツアー問い合わせ概況 日並びの影響で問い合わせは短期化・直前化の傾向 台北とオアフ島が人気を二分 出発日は12月22日前後、29日前後に分散

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）に設置されたエイビーロード・リサーチ・センター（センター長：沢登 次彦）は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』（<http://www.ab-road.net/>）ユーザーの海外ツアーへの問い合わせ実績を集計し、2016年年末年始期間の海外旅行マーケットを考察しましたのでご報告します。

結果要約

1. 問い合わせ時期・・・P2

→例年に比べて11月の比率が高く、予約の直前化傾向がみられる。

2. 人気旅行先・・・P3

→都市別では「台北」「オアフ島」が人気を二分。

3位に「セブ島（フィリピン）」が入り、ベスト3で全体の2割以上のシェアを占める。

4位に「ローマ」、5位に「バルセロナ」が入り、「パリ」は9位に後退。

エリア別ではオセアニアが引き続き好調。

3. 日数、希望する出発日、帰着日・・・P4、P5

→日並びが影響し、例年に比べて短期化の傾向。

12月22日前後と12月29日前後に希望出発日は分散。

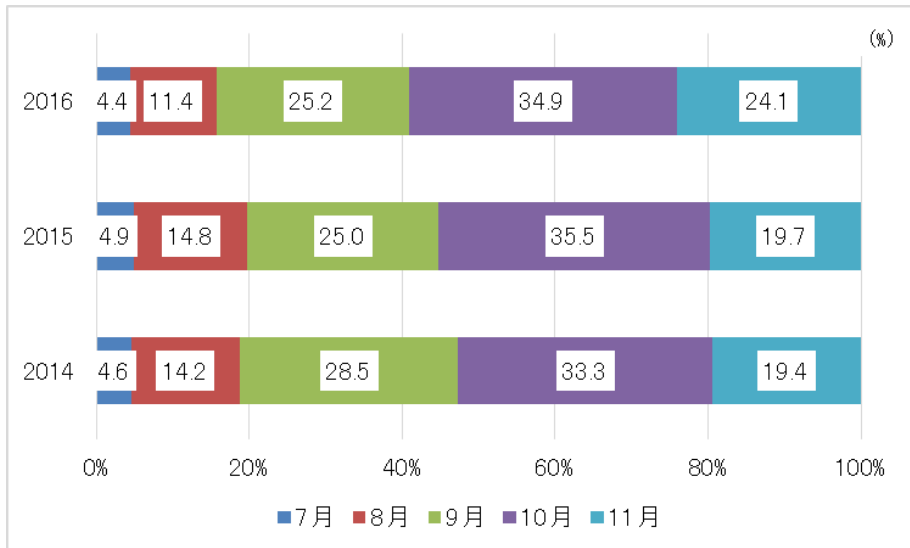
【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

1. 問い合わせ時期

2016年の年末年始期間（2016年12月23日～2017年1月3日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行）の新規問合せ数（2016年7月1日～11月15日までの問い合わせ）を集計した。問い合わせ時期をみると（データ1）、「11月」の問い合わせが24.1%を占めており、2015年、2014年と比べて高い。「8月」が相対的に低く、直前予約の動きが例年よりも増しているようだ。

※1 問い合わせの定義：『エイビーロード』カスタマーのメールによる旅行会社への問い合わせと、旅行会社へのホームページへのリンク数を含めた数値

■データ1：問い合わせ時期（2014～2016年比較）



2. 人気旅行先

都市別のシェアランキングは（データ2）、1位が「台北」（8.9%）、2位「オアフ島」（8.2%）で、この2都市がほぼ同率。3位「セブ島（フィリピン）」（4.1%）をあわせると、この3都市で全体の2割以上を占める結果となり、上位都市に人気集中する形となった。前年は「オアフ島」が7.7%と大きなシェアを占めていたが、今年は日並みの影響か、短期ツアーが中心の「台北」のシェアが大きく上昇して1位に。また4位に「ローマ」（3.1%）、5位に「バルセロナ」（2.8%）が入り、「パリ」は前年3位から9位に後退した。

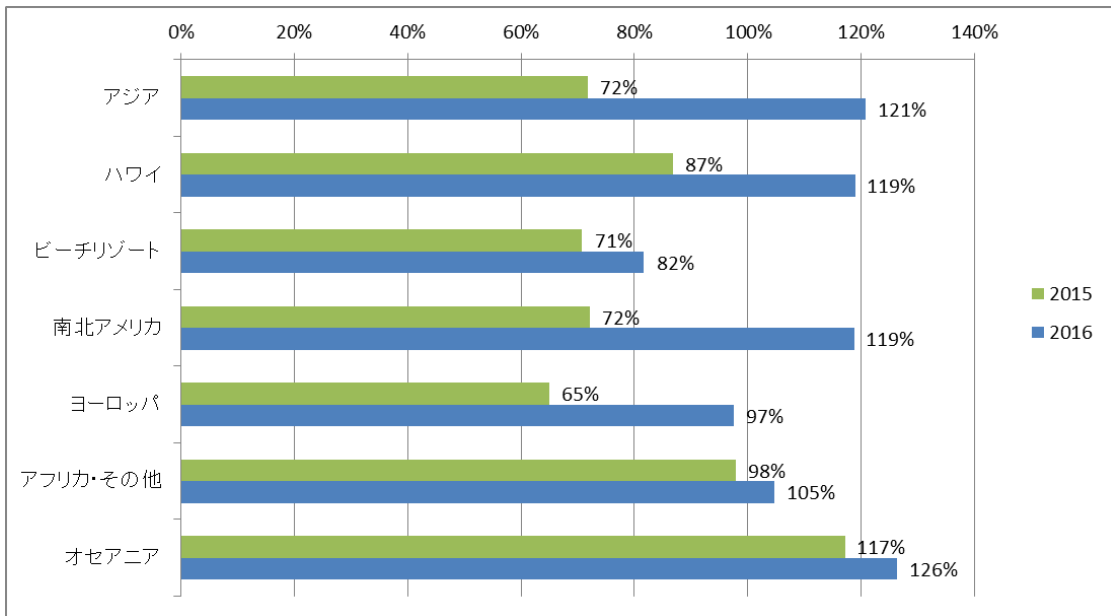
参考までに方面別に前年比をみると（データ3）、最も高いのは「オセアニア」（126%）、次いで「アジア」（121%）、「ハワイ」「南北アメリカ」（119%）。一方前年を割り込んだのは「ヨーロッパ」（97%）、「ビーチリゾート」（82%）。

■データ2：旅行先シェアTOP10 / 参考 2015年、2014年

順位	2016年問い合わせ旅行先	シェア	順位	2015年問い合わせ旅行先	シェア	順位	2014年問い合わせ旅行先	シェア
1	台北	8.9%	1	オアフ島	7.7%	1	台北	5.8%
2	オアフ島	8.2%	2	台北	5.6%	2	オアフ島	5.7%
3	セブ島(フィリピン)	4.1%	3	パリ	3.9%	3	パリ	4.2%
4	ローマ	3.1%	4	セブ島(フィリピン)	3.8%	4	ソウル	3.8%
5	バルセロナ	2.8%	5	グアム	3.5%	5	グアム	2.6%
6	ソウル	2.5%	6	ソウル	2.9%		ローマ	2.6%
7	バリ島(インドネシア)	2.4%	7	バルセロナ	2.8%	7	バルセロナ	2.5%
	グアム	2.4%	8	バリ島(インドネシア)	2.5%	8	セブ島(フィリピン)	2.4%
9	ロンドン	2.3%	9	シンガポール	2.4%	9	シンガポール	2.3%
10	パリ	2.1%	10	ローマ	2.3%	10	バンコク	2.1%
				ロンドン	2.3%			

※2 小数点第2位を四捨五入した数値でランキング

■データ3：エリア別前年比（2015・2016年比較）

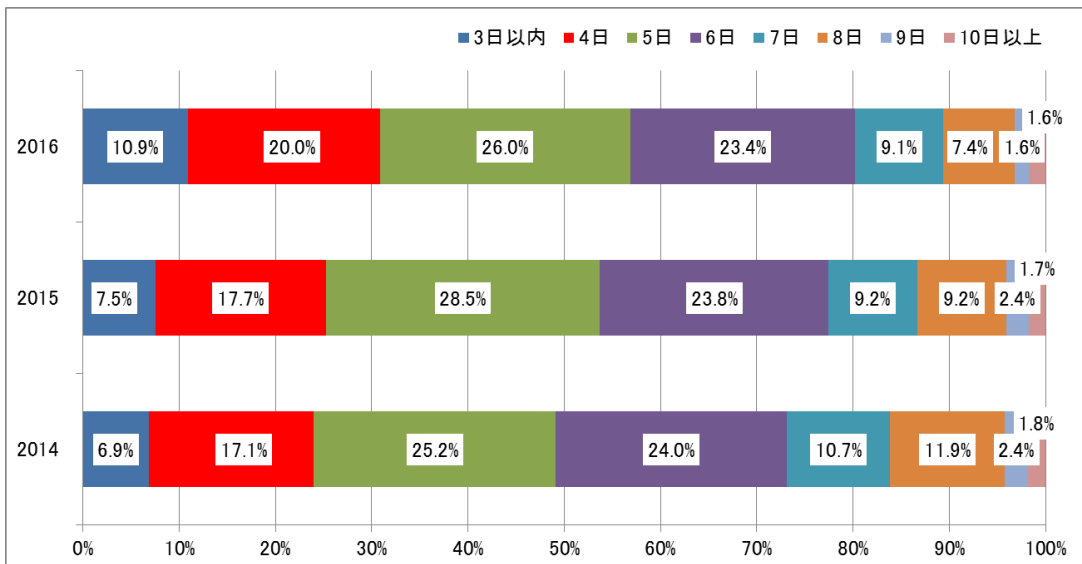


※2 「ビーチリゾート」は上記分類以外のエリアのビーチエリアを示す（グアム、サイパン、ニューカレドニア、タヒチなど）

3. 日数

ツアー日数の分布をみると（データ4）、2016年は「3日以内」（10.9%）が前年から3ポイントアップ、「4日」（20.0%）が前年から2ポイントアップと、短期に大きく伸びが見られ、平均日数では5.4日となり（データ5）、過去2年と比べても短い。平日を挟む日並びが影響してか、5日以下の短期のツアーが人気となっている。

■データ4：問い合わせシェア 日数別（2014～2016年比較）



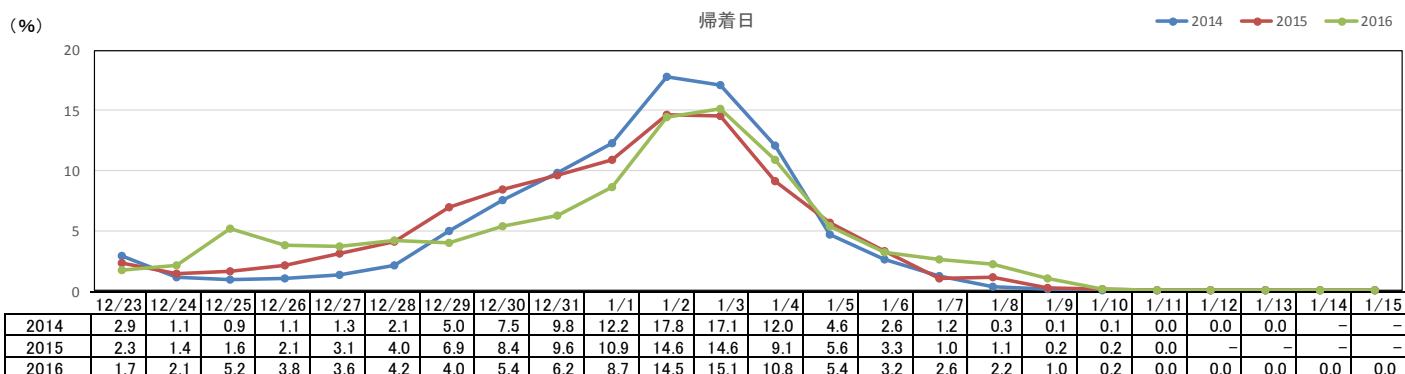
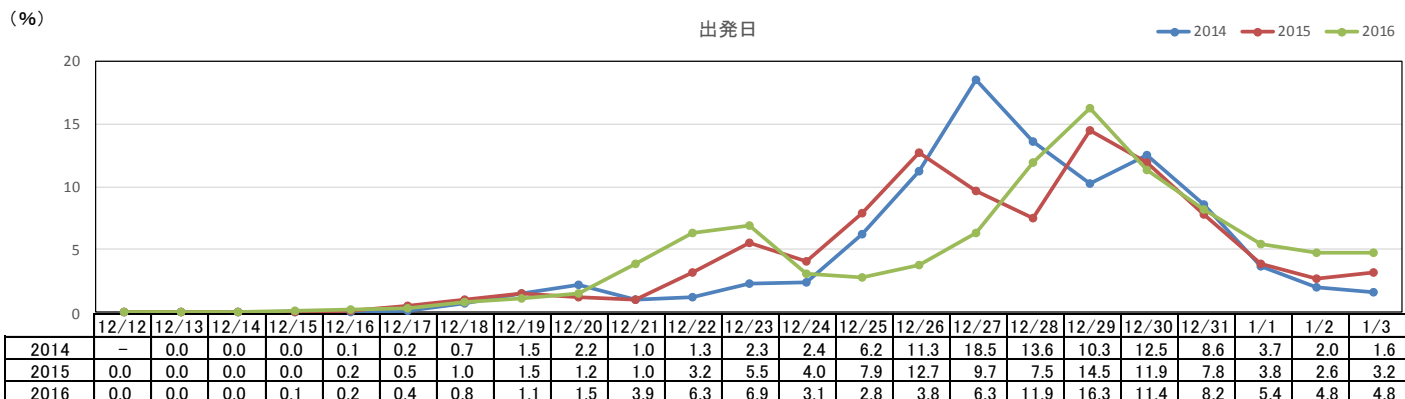
■データ5：平均日数（2014～2016年比較）

	2014	2015	2016
平均日数	5.7	5.6	5.4

4. 希望する出発日・帰着日

出発日は12月22日前後と12月29日前後に分散しており、過去2年と比べると26日～27日が平日にあたるため、この期間の出現率が大きく減少している。帰着日については1月2日～3日に集中する傾向は変わらないが、12月25日にも小さな山がある（データ6）。月別のシェアをみると（データ7）、過去2年と比較して1月出発の比率がやや高めとなったが、帰着に関しては大きな偏りは見られなかった。

■データ6：希望出発日・帰国日（2014～2016年比較） 単位：（％）



■データ7：希望出発日・帰着日の月別シェア（2014～2016年比較）

	2014	2015	2016
12月出発計	92.6%	90.3%	85.0%
1月出発計	7.4%	9.7%	15.0%

	2014	2015	2016
12月帰着計	31.8%	39.4%	36.1%
1月帰着計	68.2%	60.6%	63.9%